

KUMAGAYA SOUTH Rotary Club of Saitama RI Dist. 2570

President : Naoki Takada
Secretary : Tomoko Uetake
Hotel Garden Palace
Sayada3248-1 Kumagaya shi



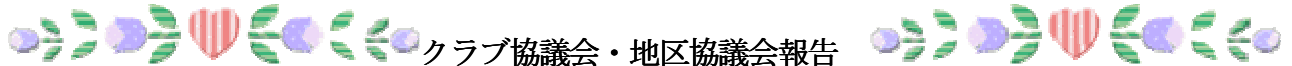
2011. 5. 18

No. 37



Ray Klingensmith
RI President, 2010-11
Bujuro Nishikawa Gouverneur
RI Dist 2570

第636回例会 会報



次期、島崎会長年度、地区協議会が4月24日、(日)ものつくり大学にて開催されました。
今月18日、(水)、当クラブ、次期各部門委員長に就任する会員たちの報告が行われました。

会長挨拶

本日のプログラム 5月25日(水) 卓話 さいとうあつこ氏



会長 高田 直樹

今年度地区大会が、東日本大震災の影響を受けて中止となったために RI 会長代理で出席される予定でありました黒田 RI 理事よりガバナー月信を通じてのメッセージがありました。それは「RI 現況報告と理事の一人としての意見」という内容でぜひこれからの奉仕活動の資料として役立てて欲しいとの事であり、その中の黒田 RI 理事の意見を抜粋してご報告申し上げます。

現在の RI もロータリー財団も、資産的に巨大組織になりましたが、日本などでは会員減少が続いて、大きな変換期となっております。これには会員数だけでなく、会員の質確保のためのロータリー情報伝達のあり方と広報などが問われています。私達は2005年にロータリーの100年間を振り返り、その成果を祝うと同時に、改革への第一歩を始めました。

ロータリーの活性化を回復するために、ロータリーをより簡素化し、より柔軟で、より透明性のあるものにして、この激変の時代に即した体質へ脱皮することが望まれ、若い会員を迎えるために世代に対する理解が必要となります。

そのために RI では長期計画委員会を発足し、現在は「2010～13年度における長期計画の新優先事項と使命・ビジョン・中核となる価値観」が報告されております。その内容は皆様が持っている「ロータリーの友」「ロータリー手帳」の付録資料に記載されているとの事です。その三大優先項目として「クラブのサポートと強化」「人道的奉仕の重点化と増加」と「公共イメージと認知度の向上」が挙げられています。また RI は具体的なこととして、地区リーダーシッププランを着実に整備し、クラブではクラブリーダーシッププラン (CLP) を検討するよう推奨しております。しかし CLP の採用はあくまでもクラブの自主性にありますが、少なくとも各クラブで「効果的なロータリークラブとなるための活動計画の指標」を参考にして、か独自のクラブ長期計

画を作成して頂きたいとの事です。

レイ・クリンギンスミス RI 会長は「ロータリーの本質」について、「地域の人々の生活を改善したいという情熱を、社会に役立つ活動に注いでいる、献身的な人々の世界的ネットワーク」と説明されています。

さらに私達は職業倫理が中心的な価値観であることも再認識しており、2010年規定審議会で「新世代奉仕」を第五奉仕部門としております。このように私たちはロータリーの基本理念を改めて確認することも必要であり、一人ひとりがロータリアンであることを自覚し、ロータリーの現在の問題を乗り越える努力が必要であります。そして、私たちが積極的に RI や財団に発言すると共にプログラムに参加していきましょう。とこのように締めくくっております。

幹 事 報 告



幹事 植竹 知子

1. 財) ロータリー米山記念奨学会より
* ハイライトよねやま134
2. 熊谷市コミュニティづくり市民協議会より
* 平成 23 年度熊谷市コミュニティづくり市民協議会定期総会の開催について
3. 熊谷暴力排除推進協議会より
* 平成 23 年度暴力排除推進協議会総会の開催について
4. 熊環連より
* 平成 23 年度定期総会の御案内

以上が届いております。

地区協議会報告

次年度担当例会「クラブ協議会」

会長エレクト 島崎 次弘



4月24日(日)に「地区協議会」が行田市の「ものづくり大学」で開催されました。地区協議会は次年度の各クラブの主要な部門をになう指導者たちを一同に集めて年に一度行うもので、各クラブは出席が義務付けられている大事な大会です。当クラブからも予定通り各10部門全員出席して頂きました。

大会は午前中の式典のあと、午後から各部会に分かれての研修会に移りました。各部会の報告はそれぞれ出席者の方に発表して頂きます。

会長部会では、朝霞RCの大館清次パストガバナーの挨拶から始まり、立原雅夫ガバナーエレクトから次年度RI会長のメッセージについてお話がありました。次年度のRI会長はインドのカルヤン・バネルジーさんでインド最大の農薬会社の重役であり、インドからは3人目のRI会長になります。テーマに「こころの中を見つめよう、博愛を広げるために」を掲げ、そして3つの強調事項として、第一に「家族」第二に「継続」第三に「変化」を挙げています。インドの方ということで、「まず自分を深く省みることから始めよう」という非常に東洋的な精神を反映しております。このRI会長のメッセージは簡潔で分かり易く、我々にも大変理解しやすい内容となっております。細かい内容につきましては、お手元にコピーをお配りしてありますのでぜひお読み下さい。余談ですが、RI会長の出身国ですが、2年前は韓国の李東建さん、次年度がインド、そしてその次の会長が日本の田中作次さんと、この5年間で3人がアジア出身ということになります。正に今はアジアの時代だということをロータリーの世界でも証明しているような気がします。

次に立原次年度ガバナーの方針が示されました。RI会長の3つの強調事項を基本にガバナー方針が語られましたが、中でも「新世代の青少年への協力支援に力を入れ、次世代を育て、未来のより良い社会作りに多に貢献したい。」と語り、また、「次世代をになう若者たちにはこの大震災の現実をよく見届けて頂き、これから築き上げる未来への参考にして頂きたい。そのために夢と希望を失わないように応援しよう。」と熱意を込めて語っておりました。また、RI会長の3つの強調事項の中でも一番大事なものは最後の「変化」だと話されました。いいものは継続し、変える必要があるものは思い切って変えて、「ロータリーが変化する時代に対応してより良い方向を目指しているのか」を常に自問自答しながら運営して行きたい、と結んでおりました。

今私は、会長研修(PETS)と地区協議会を終えまして、どうクラブを運営していくか考えているところです。RI会長や地区ガバナーの方針はよく理解しながらも、非常に広範に渡る目標を掲げておりますので、その通りの総花的なことは一つ一つのクラブ単位ではなかなかできるものではありません。まだ大震災の影響で会員の皆さんの事業にもかなり

の影響が残っていると言う懸念もあります。基本的にはクラブの会員数、規模を考えて身の丈にあった活動を考えて行きたいと考えます。しかし例え小さな活動でも中身は皆さんがロータリーを実感できるものを行って行きたいと思います。これから皆さんと本格的に打合せをさせて頂きながら、会員の皆さんが主役ということ念頭に置きまして取り組んで行きたいと思います。ご協力よろしくお願い致します。

2011-2012年度

地区協議会部門別研修会

クラブ奉仕部門委員会

渡邊 藤男



平成23年4月23日、クラブ奉仕部門の部門別研修会に参加してまいりました。

はじめに、今年度、ガバナー西川武重郎様より、挨拶がありました。

「ロータリーは、今何をやるべきか、今何ができるか考えてみる」という発言をしていました。続いて、次年度クラブ奉仕部門、山口茂部門委員長より、挨拶がありました。

部門委員長は3つの目標を述べておりました。

- 1、プログラムの充実
- 2、会員純増1名
- 3、各クラブの広報PR

この3点を目標に、次年度はやっていきたいとおっしゃっていました。

続いて、各部門の委員長より、委員会に対する説明

会員増強・クラブ拡大委員会

2570地区の54クラブに、会員増強によってクラブが拡大できる方法の提案や、会員の勧誘・維持に関するセミナー等を行います。

広報・記録委員会

各クラブに効果的なPRや、メディアに取り上げてもらったクラブより発表して頂きましたが、立原年度ガバナーは地区として、ロータリーを知らない方々に知ってもらう為にPRになるような

事を考えております、という発表がありました。具体例として

- 1、地域社会からの要望や時流にあった奉仕活動を実施する
- 2、各メディアとの交流を図り活動をアピールする
- 3、著名人の卓話などに地域の人たちなどを招待する
- 4、地元ケーブルテレビ活用（マスコミ）

対外広報目標としてはこの4点をメインに活動をする、と委員長より発表がありました。

最後になりますが、山口茂クラブ奉仕部門委員長より、会員のみならず、「ロータリークラブのバッジにどのような意味があるかご存知ですか」との問いかけがありました。

ロータリーのバッジについての意味を少しお話しさせていただきたいと思います。

ロータリアンが徽章を付けているときは、次のことを意味している。

- あなたは、私を信用していただいて結構です、私は信用に値する者です；
- 私の用意はできています。何時でも、あなたのために奉仕できます；
- 私は受ける以上のものを、あなたに与えます。私は人のために奉仕します。”

以上のことから、ロータリークラブが社会の為に奉仕する団体であるということ、自分自らバッジを通して社会にアピールしている、ひとつのしるしではないでしょうか。

国際ロータリー第2570地区

2011-2012年度 職業奉仕部会 報告

職業・社会奉仕委員長 岡本庄一郎

(代理出席・井上哲孝)



平成23年度国際ロータリー第2570地区・地区協議会・職業奉仕部門に於ける、今年度の事業計画は以下の通りになります。

(1)「ロータリーって何ですか？」ロータリーの源

流とも言われる職業奉仕を通して考えたい。

(2) 「異業種交流をしてください」・・・は 2570 地区の「我等の生業」を編纂して異業種交流に発展させる。

(3) 高校生社会体験活動委員会プログラムの実施

(4) 職業奉仕部門セミナー

日時：8月6日(土)・2月4日(土) 予定

場所：国立女性教育会館予定

今回の地区協議会では、主に今年度も実施されました「高校生社会体験活動」について、本年度は「自分発見！高校生感動体験プログラム事業」というテーマにて実施されます。地区協議会開催時点では、埼玉県「高校生社会体験活動委員会」より、「すでに事業年度(平成23年4月1日より)に入っており、ロータリー会員の皆様(事業者)のご協力をぜひともお願いします。」との要請もいただきました。

時間的な都合上、この事業の提案および発表のみが行われました。「職業奉仕部門・事業計画」についての詳細につきましては、事務局に資料を送ってありますので、一読下さい。以上

地区協議会 社会奉仕委員会出席報告書

岡本庄一郎



去る4月24日、行田ものづくり大学に於いて、2570地区の地区協議会が開催された。

まず最初の挨拶で、西川ガバナーより3. 11東日本大震災に際して、多くの犠牲者、行方不明の方々避難されている方々に対し、御悔みと御見舞いの言葉を述べられた。

又、分科会では、社会奉仕部門に出席し、小委員会の今年度の方針の説明を受けた。

○社会奉仕委員会

東日本大震災の復興支援を全面的に協力しよう。この一年間の社会奉仕はこれにつきる。

○アイバンク担当

献眼登録をぜひとも

アイバンクの資金にも御協力を

個人 一口 1,000円

法人 一口 10,000円

○ブライダル委員会

日本の人口は非常な勢いで減少している。現在 1

億2000万人、40年後の2050年には9000万人になる、40年間で3000万人減少する。すなわち1年間で75万人、一ヶ月間63,000人、一週間では12,000人減る。一週間で小さな村が一つずつ消える計算だ。

ロータリーとしては、ロータリアンの単身の御子息御令嬢を対象にブライダルパーティーを開き、相談会、御見合い相談会を開く。対象は、ロータリー仲間のみとするので安心できるとの事。パーティーは年2回、相談会は8回行う。

○世界遺産登録推進委員会

事業計画

- ① さきたま古墳群を世界遺産へ キャラバンの受け入れを御願したい。
- ② 秩父夜祭りを無形文化遺産への支援、よろしく。

2011年地区協議会 国際奉仕部門報告

李一孝



セミナーの内容

- ・ 国際奉仕の理念
- ・ 国際奉仕の歴史的考察
 - (1) 国際ロータリー
 - (2) 日本のロータリー
- ・ 国際奉仕のねらい
- ・ 2011-12年度 地区推進事業

(1) 世界社会奉仕委員会

第2570地区の現状

(2) 国際奉仕研究委員会

よく「ロータリー・クラブ」って一体何ですか？との質問をされたことがあるでしょう。なんと答えられますか。そのような時私は「世界の中を住み良いところにしようと、「奉仕」を心掛けている親善団体」と答えます。「奉仕」という行為を志している人の集まりであります。この場合の「奉仕(s e r v i c e)」とは、「お金」や「もの」ではなく、「他人に対する思いやり」を持った人達の集まりを言います。

ロータリーの発足は、1905年(明治38)。1914年にはイギリスの本土とアイルランドに8つのクラブが結成されています。国際奉仕が起こった直接の

原因は、1914年の第1次世界大戦であったと言われております。

ベルギーからの避難民慰問や救済活動が行なわれたということです。1917年アメリカが参戦したことから当然アメリカのロータリアンも出征兵士の慰問激励、傷病兵や難民の救済が始まりました。この経験から国境を越えた人道的な活動がはじまりました。国際奉仕がロータリーの第4部門として確立されたのは1921年エジンバラの国際大会のときからです。

ロータリアンの個々の人同士の友愛から始まり、やがて国際親善の糸口となって結びつき、遂に国際融和・国際平和に繋がるのが、ロータリーの国際奉仕の基本的な理念なのであります。

アフガニスタン・カブール州の「地雷除去資金の支援」

一方「識字率向上」プロジェクトとして1993～94年より社団法人「日本ユネスコ協会連盟」の「世界寺子屋運動」に対する支援活動をはじめ地区内で総計3,154万円を同連盟に寄贈した。この「ユネスコ世界寺子屋運動」は2001～2002年も継続され、この1年間で322万円余の募金が集まり、5月12日（日）の地区協議会の席上、日本ユネスコ協会連盟 加藤玲子理事に寄贈した。なお、社団法人「日本ユネスコ協会連盟」（会長 児島仁）をもって、地区内の協力優秀クラブ10クラブに対し、それぞれ感謝状が授与された。この運動は、2002年度以降も形は少し変わりましたが、継続して行なわれています。

- ① ネパール学校建設プログラム
- ② ネパール里親奨学支援プログラム
- ③ ミャンマー寺子屋支援プログラム

「日豪青年相互訪問事業」の中止

2011年 地区協議会

新世代部会に出席させていただいて

長谷川 信



2011年4月24日行田市ものづくり大学にて行われた地区協議会に出席し新世代部会に参加させていただきました。

初めに新世代アドバイザーとしてパストガバナーの野中広之さんが話され

新世代部門院長の野口健吉（東松山むさしロータリークラブ）さんが事業方針を
していただき、本年度より四大奉仕にクラブ、職業、社会、国際奉仕に
新世代奉仕が加わり5大奉仕となり、世界中で青少年活動の支援をおこなっている

新世代部門にはアクト委員会（インターアクト、ローターアクト）、青少年交換委員会、ライラ委員会があり

まず

アクト委員会では

インターアクトクラブは12才から18才までの青少年、高校生で今年より年齢が引き下げられたので中学校にもインターアクトクラブ設立が可能になりました、ので各クラブでも支援をいただき新しいインターアクトクラブの設立ができるようにご協力を願います。

ローターアクトは地区、及び提唱クラブ以外の交流が少ないように思いますのでローターアクトクラブ地区大会等に積極的にロータリアンの参加をしていただき交流を深めたい

事業計画としては

インターアクト

- ① 事業計画を把握し提唱ロータリークラブへ連携を密にする
- ② 学校、教師会、提唱クラブは常に活動運営の問題や課題を共有する事業
- ③ アクト事業には年間通じ積極的に参加、他のロータリアンにも呼び掛ける

ローターアクト

- ① 提唱ロータリークラブを支援する
- ② アクト事業には年間通じ積極的に参加、他のロータリアンにも呼び掛ける、衰退防止
- ③ 地区ロータリーとしても次世代を担う新世代プロジェクトの信念から両アクトクラブへは学校、ロータリー、地域人共連携し年間事業など随時参加、衰退防止、拡大補強につながる事業を推進していく

青少年交換委員会

今年は東日本大震災の影響で、3人の留学生は震災すぐに帰国して今しましたが、

立原年度では、5名の派遣を考えているとのことでした

今年は埼玉県及び埼玉県教育員会の後援をいただいている

予定としては5、6月に募集し、7月に1次試験、10月に2次試験で選ばれた

候補生は10月より6月まで毎月オリエンテーションを通じて教育を行い来年8月に

派遣となります、来日学生も2、3月に相手地区との交渉の後、交換が決まり、

来日学生も決まる予定ですが、今年は来日学生はいなく受け入れだけはしてくれるようで、受け入れのクラブから次年度以降に来日とのこと

事業計画

- ① 募集方法は埼玉県教育委員会の後援を頂いているので、高校へ募集を案内を直接送り、地区宛てに推薦をおねがいする
- ② 推薦の際は高校でもホストファミリーをお願いし、ホストクラブでも2～3名のホストファミリーをお願いします。
- ③ 高校から推薦学生は選抜試験を行いクラブへホスト依頼はガバナー補佐及び委員会で行い、1クラブでホスト不能の場合はマルチクラブでのホストも可能です（マルチクラブのひな型は委員会に用意してあります）
- ④ ホストファミリー不足が深刻になっている現状を鑑み、ホストファミリーネットワークの構築を今年度より始めたいと思っています。

:ライラ委員会

ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA)

方針: 継続してライラデーを実施し地域社会のリーダーとなる道を開くために若者たちを

導き、参加する若者たちにロータリーの理想と価値観を紹介する役目をはたしていきたい

活動計画

- ① ライラデーの開催
- ② 各クラブにライラのの実績をPRし理解を深めて頂き支援をお願いする
- ③ 地区にある大学、高校へ訪問しロータリーの活動への参加を呼び掛ける
- ④ ライラを通じて地域の若者たちがリーダーとして成長するのを助ける

*ライラデー

日時:平成23年12月4日(日)

場所:紫雲閣(東松山)

地区協議会報告 R 財団委員会 佐川順一

2011年4月24日(日) 於:ものつくり大学



1) R 財団今年度の方針

地区寄付の目標

- * 年次寄付: 財団の根幹。(例: ポール・ハリス・フェロー、地区補助金、マッチング・グラント、世界平和フェローシップ G・S・E 等)などへ使用
100ドル/会員・50ドル/クラブ
- * 恒久寄付: 元金を使わず利息だけを使う
元金は投資に使用(例 ベネファクター 20ドル/会員)
- * 使途指定寄付: ポリオ・プラス、冠名奨学金等 30ドル/会員

1、教育的プログラム

- ロータリー平和フェローシップ・プログラム 地区から一名派遣中
R I 2570 地区より金子由香さんが豪州・クイーンズランド
- G・S・E (研修グループ交換)

2、人道的プログラム

- 地区補助金プログラム(人道的・環境保全社会奉仕活動に対して)
- マッチング・グラント・プログラム

3、ポリオ・プラス・プログラム

2013年までに計2億ドル達成目標 あと3600万ドル(ビル・ゲイツ財団はこれまで3億5000万ドル寄付)

○ロータリー財団推進 将来の夢委員会

2017年ビジョン

2017年 R財団が創立100周年を迎えるにあたり

ア) ポリオ撲滅 イ) 恒久基金7～8億ドル(2025年までに10億ドル)

ウ) 年次プログラム基金: 1億5000万ドル

エ) 世界で50位に入る第一級の財団へ。

次年度米山奨学委員長 高田直樹



4月24日、行田「ものづくり大学」に於いて地区協議会が開催されました。私は次年度米山奨学委員長を仰せつかりました。

本会議終了後、昼食をはさんで午後1時より分科会が開催されました。

梅沢定彦担当諮問委員の挨拶、そして、今年度に続き次年度も担当される大澤衛部門委員長より、次年度「米山奨学部門の方針」が発表されました。又、今年度当クラブの米山奨学生、現在はすでに学友となりました。又、今年度当クラブの米山奨学生、現在は学友となりました金善花さんが「すばらしい贈り物」というテーマで卓話をされました。

次年度に付きましても寄付金を財源として奨学金の支給、事業の運営を促進するため各クラブへの寄付増強を図り、前年度の寄付額を下回らないようにすることです。

又、奨学事業の理解促進のため、クラブ内米山関係プログラムの企画、実施、広報関係のツールの活用等、行なって欲しいとの事であります。

これらの事から次年度に於きましても寄付の増進、そして奨学生の受入はしませんが、米山奨学生、学友との積極的な交流を図って参りたいと思いますので、皆様のご協力をお願い申し上げまして、地区協議会の報告と致します。

地区協クラブ研修リーダー部門報告 島崎年度研修リーダー 棚澤正行



本会議についてはエレクトにお願いして、分科会についてお話しします。

梅澤研修委員の司会の元、加藤玄静直前ガバナー、浅田前年度地区研修委員長、栗山本年度地区研修委員長のお話を聞いて参りました。そこには、地区研修委員の我らが澤田将信本年度ガバナー補佐もおられました。

加藤直前ガバナーの滑ったトーク、浅田さんの欲張った資料に基づく詰め込みのレクチャー、栗山さんが控えめで大人だなーと感じました。

内容的には、Rの友を読み、ロータリアンとはをみて考えなさい、「要覧も重要だがロータリー章典が法律である」、というようなことでした。

浅田さんが作った資料が横のつながりが上手くいっておらず足りなく、「お手元の資料を確認して下さい」と話して、それが露見し、「そんなのは会議が始まる前に地区委員が確認しておけ!」と怒られていました。

うちのクラブ以外は偉い方が研修リーダーになっているみたいです。毎年今の時期に感じるのですが、次年度の体制がまだ整いきって無いと感じました。

次年度地区委員澤田さん頑張って下さい!

委員会報告

● 出席報告

例会日 5月18日

会員数	出席	欠席	MU	出席率
29	21	8	0	72%

● ニコニコBOX



高田直樹会長・植竹知子幹事

皆様今晚は、早いもので5月も中旬となりました。今年度も残すところ5回の例会となりますが、最

後まで気を抜かず、楽しい例会にしたいと思いま
すので、宜しく願い致します。

澤田将信会員

お世話になります。澤田で～す。今日、加須 RC
ヘメーキャップに行っまいました。

島崎次弘会員

今日は次年度担当例会です。だんだん緊張してき
ました。皆さんお手柔らかにお願いします。本日
の発表者の皆さん、宜しく願い致します。

山口茂会員

皆さん、こんばんは。先週の土曜日の、地区会員
増強セミナーに、島崎エレクト、次年度棚澤会員
増強委員長、出席ありがとうございました。

岡部俊之会員

初めて自宅から自転車 came ました。20 分で came
ました。節エネで電動アシスト自転車は5月の風を切
って気持ちいいです。やみつきになりそう。

棚澤正行会員

土曜日は、地区の増強セミナーに御参加の山口部
門委員長、島崎エレクト、お疲れ様でした。地区
協の発表がんばりまーす！

熊谷南ロータリークラブ

会報・広報 (IT) 委員会 佐川順一・石井一則

TEL 048-522-6143 FAX 048-522-6153

E-mail: ksr@kumagaya-south-rc.com

<http://kumagaya-south-rc.com/>